

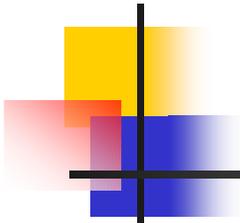


2004年度 中間決算説明会

2004年11月19日

株式会社東京放送

www.tbs.co.jp



出席者紹介

代表取締役社長

専務取締役

TBSテレビ専務取締役

井上

財津

城所

弘

敬三

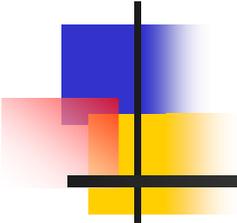
賢一郎

司会：経営企画局長

山口

慎彌

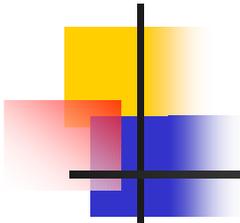




当社の経営戦略

代表取締役社長 井上弘





中間決算ハイライト

- 増収増益（経常利益・中間純利益）
- 放送事業は3年ぶり増収
- 事業局 売上は100億円 突破
- 連結子会社の業績も好調
- 上期ゴールデンは3年ぶり2位



TBSブランドの向上を求めて

- TBSの存在感を示す大型企画
- 深い感動と信頼される情報を
世代を超えて届ける
- 感動の物語「涙そうそう」
- 社会評価高めるドキュメンタリー
- レギュラー番組の強化



異業種提携による価値向上

- 世界の中心で、愛をさけぶ
- いま、会いにゆきます
- 期待される1セグ放送

- 放送・映画・出版のコラボレーション
- 配給事業・ビデオ版權事業で利益付加
- 通信とのコラボレーションも始動



戦略的中核会社 TBSテレビ

- TBS R&C の成功体験をテレビでも実現し
- 新賃金体系下で採用枠拡大
- 若々しい活力あるコンテンツ制作集団で
- 事業間のシナジーを高める



TBSグループの中核



非放送収入増に向けて

CG新会社の設立

- 劇場用CGアニメおよびデジタルシネマの制作
- 世界市場も視野に入れた事業展開

ショッピング事業強化

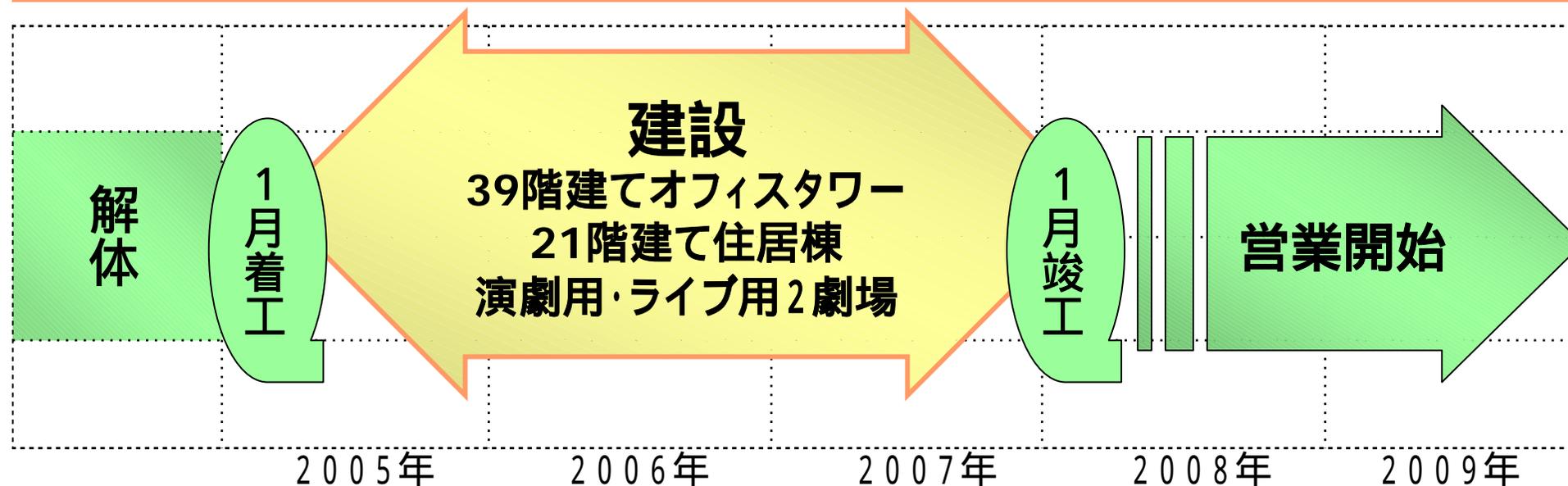
- 三井物産と提携し子会社グランマルシェ増資
- JNN系列と共同での事業展開も
- 4年後(2007年度)に売上倍増(100億円)めざす



赤坂再開発は着工段階間近

総事業費7百数十億円

オフィスタワーの予想売上高 約100億円 予想営業C/F 50～60億円



一ツ木通りに面した商業施設の完成予想図

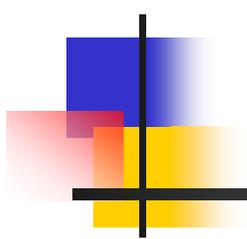


確定拠出型年金への移行準備

➤ 退職年金給付費用の損益への影響排除

➤ 自己責任原則へのシフト





2004年度 中間決算の概要

専務取締役

財津敬三



連結会社一覧

(2004年10月以降)

(株) 東京放送 (TBS)

【放送事業(15社)】

(株)TBSテレビ (TBS E + TBS S + TBS L)
(株)TBSラジオ・アンド・コミュニケーションズ
(株)TBSサービス (株)TBSビジョン
(株)東放制作 (株)ペック (株)アックス
(株)プロカム (株)赤坂ビデオセンター
(株)ドリマックス・テレビジョン
(株)赤坂グラフィックスアート
(株)サウンズアート
(株)エフ・アンド・エフ
(株)テレコム・サウンズ
TBS International, Inc.

【不動産事業(5社)】

(株)緑山スタジオ・シティ
(株)TBS会館 (株)TBS企画
赤坂熱供給(株)
(株)TBSサンワーク

【その他事業(6社)】

(株)日音 (株)TBSプラザ
(株)TBSメディア総合研究所
(株)ティ・アール・シー
(株)グランマルシェ
(株)横浜ベイスターズ

【持分法適用(4社)】

(株)BS-i (株)トマデジ (株)東通 (株)ティ・エル・シー



連結損益計算書

(単位:百万円)

	上期				前年同期			
	金額	前年比	増減 (%)	連単倍率	金額	前年比	増減 (%)	連単倍率
売上高	148,546	1,945	1.3	1.14	146,600	1,661	1.1	1.15
営業利益	11,021	998	8.3	1.24	12,019	1,811	13.1	1.28
経常利益	11,344	70	0.6	1.06	11,273	2,419	17.7	1.01
中間純利益	7,647	6,103	395.2	0.98	1,544	6,396	80.6	0.81



連結セグメント別上期業績

(単位:百万円)

	売上高	前年比	増減 (%)	営業利益	前年比	増減 (%)
放送事業	130,911	1,284	1.0	7,398	1,097	12.9
不動産事業	1,312	217	14.2	331	76	29.8
その他事業	16,321	878	5.7	3,296	171	5.5
連結	148,546	1,946	1.3	11,021	998	8.3



連結貸借対照表

(単位:億円)

	04/09	04/03	比較	増減 (%)		04/09	04/03	比較	増減 (%)
流動資産	1,416	1,449	33	2.3	流動負債	643	712	69	9.7
					固定負債	731	855	125	14.6
固定資産	3,158	3,397	239	7.0	負債合計	1,374	1,568	194	12.4
					少数株主持分	15	17	2	11.8
					資本合計	3,185	3,261	76	2.3
資産合計	4,574	4,846	272	5.6	負債/少数持分/資本合計	4,574	4,846	272	5.6

中間期有利子負債残高：37,287百万円（7,460百万円）



連結キャッシュフロー実績

(単位:百万円)

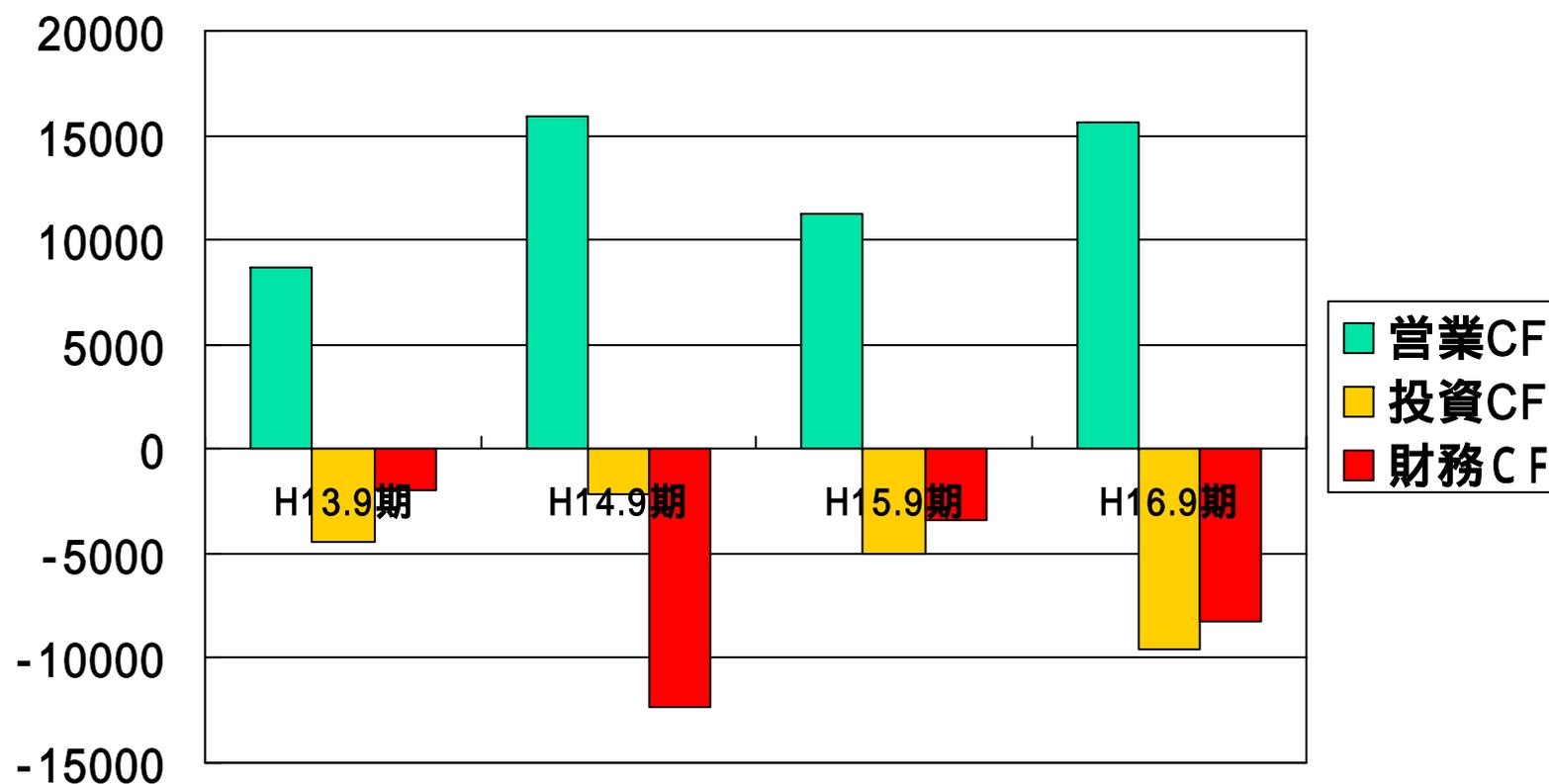
	2004/9	2003/9	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,630	11,295	4,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,560	4,968	4,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,237	3,432	4,805
現金及び現金同等物増減額	2,129	2,902	5,031
現金及び現金同等物期首残高	57,530	65,495	7,965
現金及び現金同等物期末残高	55,401	68,398	12,997

営業C/F 達成率 : 81.9 % (前期末比)



グラフ：連結キャッシュフロー推移

(単位：百万円)



上期分社業績

(単位:百万円)

	R & C	エンタ テインメント	ライブ	スポーツ
売上高	8,350 (44)	12,403 (680)	6,206 (403)	4,695 (1,031)
営業利益	698 (132)	215 (442)	10 (103)	49 (79)
経常利益	699 (135)	212 (413)	10 (109)	45 (104)
当期利益	369 (84)	112 (257)	10 (60)	20 (60)

()内は前年同期比



横浜ベイスターズ業績

(単位：億円 千万以下は四捨五入)

2004年度	上期	下期見込	通期見込
売上高	38 (2)	38 (2)	76(1)
営業利益	2(0)	7(4)	9(4)
経常利益	2(0)	7(4)	9(4)
当期利益	2(1)	7(2)	9 (1)

上期：1月～6月

()内は前年同期比



BS-iの業績

(単位：億円 千万以下は四捨五入)

2004年度	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	21(1)	26(0)	47(1)
営業利益	21(6)	20(0)	41(6)
経常利益	23(6)	22(0)	45(6)
当期利益	24(6)	22(0)	45(6)

()内は前年同期比

04/9末累計 28,490百万円



個別 損益計算書

(単位:百万円)

	上期			前年同期		
	金額	前年比	増減 (%)	金額	前年比	増減 (%)
売上高	130,409	2,437	1.9	127,971	1,516	1.2
営業利益	8,858	564	6.0	9,423	1,125	10.7
経常利益	10,688	474	4.2	11,162	1,667	13.0
当期純利益	7,832	5,936	313.1	1,896	6,216	76.6



個別 収入内訳

(単位:百万円)

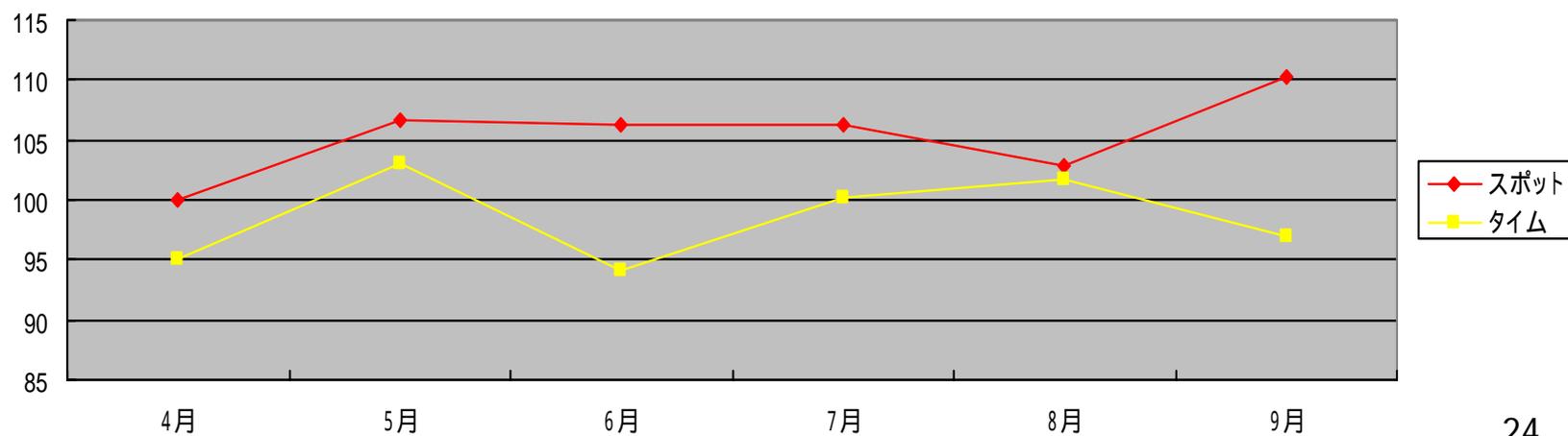
	上期		
	金額	前年比	増減(%)
テレビ事業	117,311	1,489	1.3
(タイム・制作)	59,253	888	1.5
(スポット)	51,561	2,578	5.3
(テレビその他)	6,496	201	3.0
その他	13,097	948	7.8
(事業)	10,904	1,096	11.2
(不動産)	2,193	147	6.3
収入合計	130,409	2,437	1.9



個別 テレビ収入伸び率

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	2Q	上期	下期 見込	通期 見込
スポット	±0	6.7	6.2	6.3	2.9	10.3	6.8	5.3	1.5	3.2
タイム	4.9	3.0	5.9	0.2	1.7	3.1	0.3	1.5	1.8	±0



業種別スポット売上順位

(単位：%)

	2004年度 上期	伸び率	シェア	2003年度 上期	伸び率	シェア
1	酒・飲料	16.4	14.2	食品	5.9	13.2
2	食品	8.3	11.5	酒・飲料	10.7	12.9
3	化粧品・トイレタリー	4.4	11.2	化粧品・トイレタリー	12.8	12.4
4	医薬品	6.9	7.9	医薬品	2.1	9.0
5	自動車	12.3	6.9	金融	3.7	6.7
6	金融	5.0	6.7	自動車	14.6	6.4
7	総合電気機器	26.1	6.1	エンターテインメント	2.2	6.0
8	エンターテインメント	3.6	5.9	通信・放送	0.8	5.7
9	通信・放送	6.0	5.1	総合電気機器	5.7	5.1
10	精密機器・事務機	7.9	4.1	教育・通販・マスコミ	57.1	4.2

(順位は金額順)



個別 事業収入内訳

(単位：百万円)

項目	上期	前年比	増減 (%)	内訳(前年比)	増減要因
ソフト・ライツ	4,003	247	6.6	ソフト 1,994 (204) ライツ 2,009 (451)	砂の器、オレンジ'デイズ' 世界の中心、木更津CE
番組販売	3,231	328	11.3	国内 1,899 (24) 海外 670 (178) BS/CS他 662 (126)	韓国への売上好調 tbsチャンネル契約数増
メディアコマース	430	159	27.0		売上計上を7月より子会 社に移管
催事等の事業	3,240	680	26.5	文化事業 1,639 (108) 事業 1,601 (572)	浪人街が貢献
合計	10,904	1,096	11.2		



ソフト部門売上ベスト10

(単位：千本)

	タイトル	販売本数	累計本数
1	砂の器 (D&V)	128	128
2	オレンジデイズ (D&V)	105	105
3	8時だよ！全員集合(D)	66千セット	276千セット
4	フレンズ (D&V)	13千セット	52千セット
5	木更津キャッツアイ (D)	33	306
6	3年B組金八先生第6シリーズ (D)	19	19
7	ホームドラマ (D&V)	21	21
8	ぼくが地球を救う (D&V)	18	18
9	池袋ウェストゲートパーク (D)	20	278
10	サラリーマン金太郎パート4 (D&V)	10	10

(順位は金額順)

テレビ番組原価 (制作費)

(単位：億円)

	2004年度	2003年度	前年比
第1四半期	302	300	2
第2四半期	313	303	10
上期	615	603	12
下期(見込)	595	587	8
通期(見込)	1,210	1,190	20

(参考) テレビ番組原価に含まれる主な費用：

直接費：制作番組費、業務委託費、ギャランティ等

間接費：人件費、美術制作費、技術制作費、減価償却費等



設備投資と減価償却

(単位：百万円)

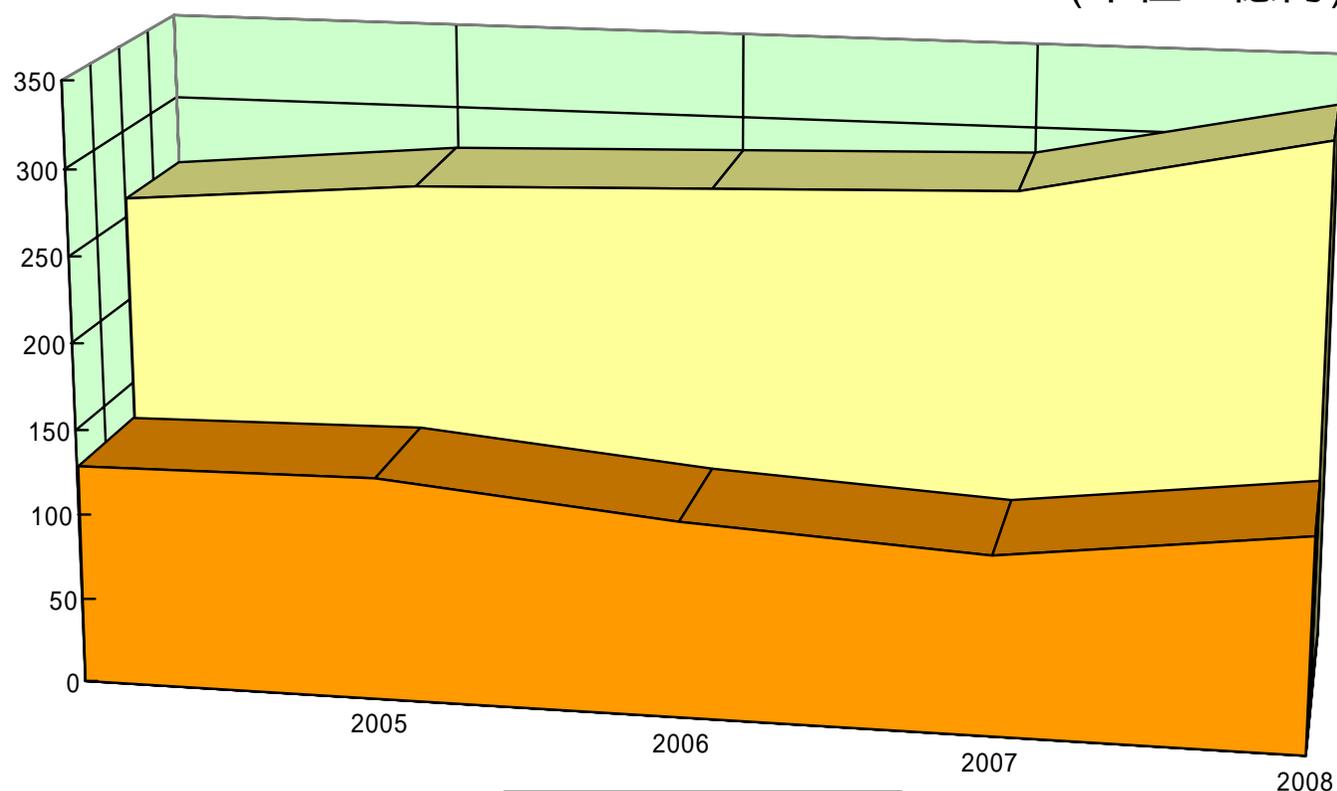
連結	上期実績	前年比	通期見込	前年比
設備投資	6,539	109	27,500	8,342
減価償却費	5,593	1,089	12,800	2,810

個別	上期実績	前年比	通期見込	前年比
設備投資	5,673	477	26,500	8,397
減価償却費	5,215	1,069	11,800	2,615



減価償却費&CF 予想推移

(単位：億円)



■ 連結減価償却費
■ 連結営業CF



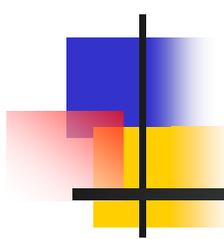
当期業績予想

(単位:百万円)

連 結	上期実績	下 期	通 期		
			合計	前年比	増減 (%)
売上高	148,546	148,954	297,500	2,485	0.8
営業利益	11,021	11,979	23,000	2,271	9.0
経常利益	11,344	11,156	22,500	1,403	5.9
当期純利益	7,647	6,853	14,500	10,424	255.7

個 別	上期実績	下 期	通 期		
			合計	前年比	増減 (%)
売上高	130,409	129,091	259,500	2,837	1.1
営業利益	8,858	9,142	18,000	1,503	7.7
経常利益	10,688	8,312	19,000	2,896	13.2
当期純利益	7,832	5,668	13,500	9,472	235.2





TBSテレビ 編成 & BS-i 計画

(株)TBSテレビ 専務取締役
城所 賢一郎



新会社TBSテレビの概要

- 社員 920人（役員・嘱託等のぞく）
- 下期事業収入：約400億円（見込）
- 同営業利益、経常利益：約7億円（見込）

- 4本部制の制作・支援体制
（報道編成・事業・営業・技術）
- 「編成戦略会議」主導の柔軟編成
- 効率的なコストコントロール継続



上期視聴率実績（前年同期比）

（単位：％）

	全日	増減	ゴールデン	増減	プライム	増減
TBS	7.5	0.2	13.2	0.6	13.0	0.4
日本テレビ	9.1	0.7	12.9	1.2	13.1	1.0
フジテレビ	9.2	0.4	13.8	0.4	14.1	0.4
テレビ朝日	7.5	0.6	11.4	0.4	11.7	0.2
テレビ東京	3.7	0.1	8.3	0.1	7.8	0.2

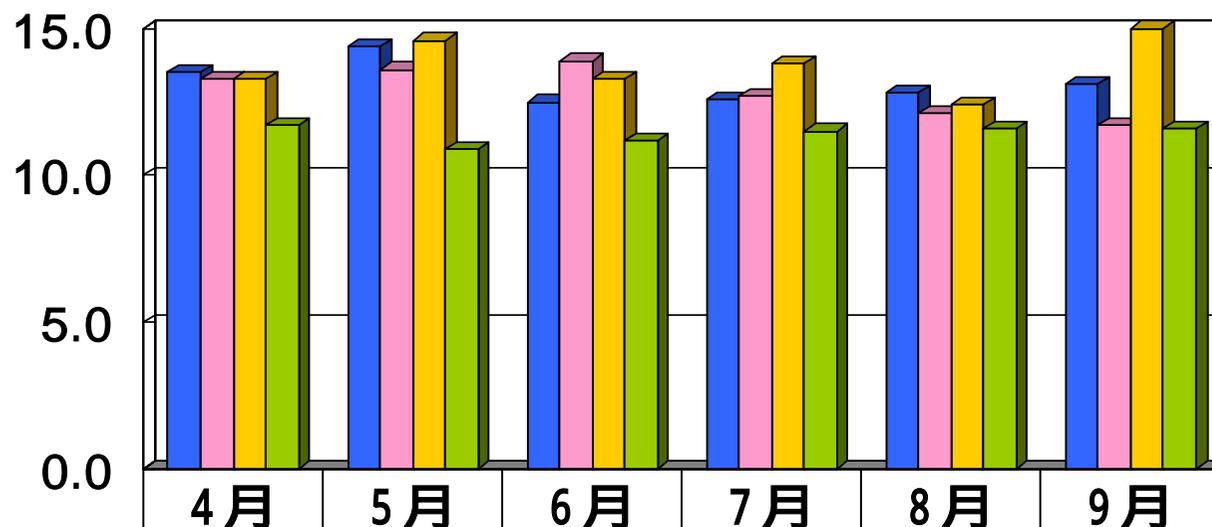
(2004/3/29～10/3：週ベース)

G帯単独2位は2001年上期以来、3年ぶり。
ドラマ等レギュラー枠堅調、アテネ五輪関連も好成績



ゴールデン帯視聴率推移

(単位: %)



■ TBS	13.5	14.4	12.5	12.6	12.8	13.1
■ 日本テレビ	13.3	13.6	13.9	12.7	12.1	11.7
■ フジテレビ	13.3	14.6	13.3	13.8	12.4	15.0
■ テレビ朝日	11.7	10.9	11.2	11.5	11.6	11.6

(歴日ベース)



TBSドラマ 前期比較

(単位：%)

曜日	2003年度 第2四半期		2004年度 第2四半期		増減
月	こちら本池上署	15.5	水戸黄門	15.3	0.2
水	ひと夏のパパへ	5.7	-	-	-
木	愛するために愛されたい	6.7	渡る世間は鬼ばかり	17.9	11.2
	高原へいらしゃい	7.3	バツ彼	11.8	4.5
金	STAND UP!	10.3	世界の中心で、愛をさけぶ	16.0	5.7
日	元カレ	15.7	逃亡者RUNAWAY	14.3	1.4



ロードマップ 進捗状況

進捗状況		対処方針
全日帯	朝帯は平均5%台、 着実に改善の兆し	朝はさらに7%台が目標 昼帯は一步一步改善めざす
GP帯	第2四半期はすべての月で プライム2位以上達成	バラエティ強化で GP帯は1位を狙う足場固め
深夜枠	10月改編で7枠新設	M1層への早期浸透はかる



TBS テレビ 放送開始50周年企画

- 「あなたの涙そうそう」公募
- ヘルシンキ世界陸上大会
- 終戦60周年企画
- 海外の放送局・プロダクションとコラボレーション
- ニュース・ドラマの融合



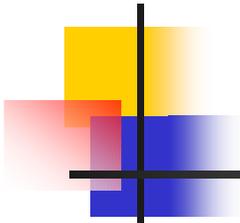
BS- i の中期損益目標

(単位：億円)

年度	2004	2005	2006	2007
当期損益	45	30	15	黒字化

- 普及世帯数見込：
670万（9月末） 800万（04年度末） 1,000万（05年度中）
- 販売促進目的の営業連動企画を強化して増収実現
- 収入推移見ながら編成方針および制作費の包括的見直しも検討





将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。

お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂五丁目3番6号

株式会社 東京放送

経営企画局 IR推進室

TEL: 03-3746-1111 (代表)

FAX : 03-5571-2020

